

2 月 19 日 : VN 指数は三日ぶりの反発

VN 指数は 0.09% 上昇の 928.76 ポイントで取引を終え、3 日ぶりの反発を記録した。

ホーチミン取引所の VN 指数採用銘柄の中では 202 銘柄が上昇し 152 銘柄が下落した。相対取引では先月の平均よりわずかに少ない 2.5 兆ドンが取り引きされた。

VN30 指数では 0.25% 上昇し 16 銘柄が上昇、11 銘柄が下落という動きだった。

FLC ファロス建設は 6.9% 高となり最も上昇した。ストップ高やストップ安を繰り返す最も値動きの荒い株式となっている。

フーニュアンジュエリー (PNJ) は 2.2% 高、TTC 製糖 (SBT) も 2.2% 高、モバイルワールドインベストメント (MWG) も 1.5% 高となった。

ビンググループ (VIC) も反発し 0.5% 高で取引を終えた。

直近 3 営業日で VIC は 1.8–3.2% の下落をしていたが、その他の大型株が下落する中で同株は最も安定していた株の一つだった。

銀行と石油ガスセクターは銘柄ごとに明暗が分かれた。ベティンバンク (CTG) とベトコムバンク (VCB) はそれぞれ 1.1%、0.1% 高となったが、BIDV 銀行は 1.3% 安となった。

VP バンクは 1.5% 高のみが民間銀行では上昇した。サコムバンク (STB) とエクシムバンク (EIB) は 1.3% と 0.6% 安となった。

ペトロベトナムパワー (POW) は 1% 高、ペトロリメックス (PLX) は 0.2% 高となった。ペトロベトナムガス (GAS) は 0.8% 安となった。

大型株の中ではビンコムリテール (VRE) が最も下落し 1.3% 安で取引を終えた。

一方、ハノイ取引所の HNX 指数は 0.7% 安となり、UPCoM 指数は 0.27% の上昇となった。

外国人投資家は 7 営業日連続の売り越し、ビンググループ (VIC) マッサングループ (MSN) などに売りが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。